



組脇 勝利さん（西荒神区）

熊本県地域交通安全活動推進委員協議会 副会長
荒尾地区地域交通安全活動推進委員協議会 会長
荒尾地区交通安全協会 副会長兼長洲支部長

1月15日、東京都で行われた第56回交通安全全国国民運動中央大会において、西荒神区の組脇勝利さんが交通安全栄誉章「緑十字金章」を受章した。これは、多年にわたり交通安全活動に尽力し、優れた功績があった交通安全功労者などに贈られる最高の栄誉であり、長洲町では初の受章となる。

組脇さんは、昭和52年に荒尾地区交通安全協会の代議員として入会し、昭和63年には、周囲の推薦を受けて長洲支部の支部長に就任。以来、約40年にわたって地域の交通安全を見守ってきた。

「今回、このような栄誉ある章を自分が貰えるとは思わず、非常にうれしかった。協会など同じ交通安全に関わる仲間とともに受章したものであり、みんなを代表していただけたものです」と笑顔で話す組脇さん。

今回の表彰では、全日本交通安全協会会長から妻のヨウ子さんへの感謝状も贈られており「このように受章できたのも、長年にわたって妻の支えがあったからこそ」と感謝の気持ちを表す。

組脇さんの普段の仕事は、自転車やバイクの整備・販売。仕事柄、交通安全に対する思いは強く「購入した人が、運転に対する危険を意識してもらうように、心がまえを伝えている。安全に使ってほしい」と安全に対する呼びかけを忘れない。

その仕事の傍ら、安全協会の活動に精力的に取り組んでいる。安全協会の活動は、主に毎月の定期的な街頭指導や春と秋に行われる交通安全運動期間など多岐にわたり、忙しい日々が続くが「それでも、交通事故を減らしたいの思いから活動に取り組んでいる。やめたいと思ったことはない」と思いは強い。

これまで交通指導に取り組んできた中で「町内での大きな事故が減っていることをうれしく思う」と笑顔で話す組脇さん。「忙しいこともあるが、元気なうちは、これからも続けていきたい」と交通安全活動への意欲を見せる。

地域の安全を守るため「今後とも事故がないように！」と強く願う組脇さんの温かい見守り活動は、これからも続いていく。

